

電波環境に関する講演会（中国・山口市）

～電波と安心な暮らし～

1 開催目的

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」がネットワークに簡単につながるユビキタスネットワーク社会の2010年実現に向け、今や電波の利用は、ICT（情報通信技術）の発展に欠かすことができないものとなっていますが、一方で、身近にある電波が人体に好ましくない影響を与えるのではないかと不安や疑問を持たれる方もおられます。この講演会では、電波が人体に及ぼす影響への不安、電波の安全性に関する疑問等の解決などについて、国の施策、安全基準、電波と健康に関する研究や最新の国際動向などを一般の方にも分かりやすく説明し、誰もが安心して安全に電波を利用できるよう、電波の正しい知識と一層の理解を深めていただくとともに、安全で安心な電波利用社会の構築を目指すことを目的としています。

2 開催日時及び会場

(1) 平成18年6月28日（水曜日） 13:30～16:30（13:00開場）

(2) ばるるプラザ山口（3階 雅）

〒753-0042

山口市惣太夫町1-15

TEL 083-934-3333（代）

[【交通案内】](#)右図に示す

3 主催 総務省中国総合通信局、社団法人電波産業会
後援 山口県、山口市

4 募集定員 70名（先着順）

5 演題及び講師

(1) 講演Ⅰ

演題：「安心して電波を利用するために」

講師：総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課長 富永 昌彦 氏

講演概要：より安全で安心な電波利用環境の確保に向け、総務省が取組んできた施策の概要（防護指針の策定とこれに基づく安全基準の法制化、生体電磁環境研究推進委員会における研究内容等）について解説。

(2) 講演Ⅱ：

演題：「電波防護指針値の根拠について」

講師：独立行政法人情報通信研究機構 電磁波計測研究センター

EMCグループ研究マネージャ 渡邊 聡一 氏

講演概要：電波の性質とその用途、電磁環境の実態、電波の生体への作用と安全基準の考え方、電波ばく露量の評価方法や最近の研究動向の概要など全般にわたって説明。

(3) 講演Ⅲ

演題：「電磁波の健康影響」

講師：東京女子医科大学 医学研究科 主任教授 山口 直人 氏

講演概要：電波の生体影響に関する研究について、疫学を中心として、その意義、IARC（国際がん研究機関）での取り組み及び最近の研究動向などを解説。

6 申し込み・問合せ先

詳しくは、[中国総合通信局ホームページ](#)、[トピックス](#)をご覧ください。

連絡先：問い合わせ先

総務省 中国総合通信局 電波監理部 電波利用環境課

電話：082-222-3311 FAX：082-222-2410

メールアドレス：chugoku-kankyo@rbt.soumu.go.jp

